

## 外と内、ガレージと家を土間がつないで

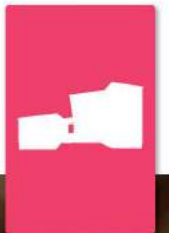
2本の道路に挟まれた敷地には、両面にアプローチと庭がある。  
そんな表裏のない家、ガレージと家の間には、暮らしをつなぐ土間が走る。

株式会社高田建築事務所

新潟市中央区 M邸 | 木造軸組工法 | 工期120日 | フリープラン

EXAMPLE  
REPORT

10



お子さんが大きくなるにつれ、マンションが手狭になったことが、家づくりの直接のきっかけだった。そして自然と、「建てるなら二世帯住宅」という思いがMさんの中に湧いた。「大きな家族で暮らせば、子どもにも、働きの自分たちにも、いい環境になると思っただけです」。早速、ご両親に同居を持ちかけ、一緒に建てることに。土地は、街中ながらも海や松林に近く、自然を感じられる場所を探した。とはいえ、なかなか見つからない。ランニングが趣味のMさんは、走りながらも探し、やっとイメージ通りの土地に出合った。そこでプランをお願いしたのが、以前から決めていた高田建築事務所だった。

「幼なじみが建てた家を見た時、いい家建てるどころだと思ったんです」。それは5年ほど前のこと。京町家への憧れを取り入れた友人の家は、土間などの中間地帯が効果的に配されていた。その後、同事務所の完成見学会を訪れる中で、それぞれ異なるテイストを持ちながらも完成度が高く、さらに地元根付いて長く続いていることを知り、心は決まった。「ずっとお付き合いをしてくれませんか、こういうところがいいと思えました。それに、社員の方に浮ついた感じがしないとか、誠実に仕事をされているところにも好感が持てたんです」。その思いは、Mさんだけでなくご家族みんなが共通して抱いていたという。

右頁/2階にある子世帯のリビング。正面、ブルーグレーの壁のある書斎スペースは、一段低くして、くつろぎの場所と分けている。左頁・上/左手にガレージ、右手に住まいを置き、間を屋根のある土間をつないだ。土間の向こう側にも、同じく小さな庭とアプローチがある。下/玄関前の土間には屋根があるため、雨の日も濡れることなくガレージと行き来できる。



## ユーズドの家具がなじむ、斜め天井のLDK

狭いものの、2本の道路に挟まれた土地には、さまざまな可能性があった。どこを空け、どこを閉じるか。人の動き、車の動きをどうスムーズに組み合わせるか。設計を担当した田中俊久さんと五十嵐愛さんは、いくつものパターンを提示し、それぞれのメリットやデメリットを丁寧に説明したという。ガイドラインとなったのは、Mさんもお父さまも、車好きだったこと。そして、室内でも屋外でもない中間領域を取り入れたいというMさんの要望だった。「中間的な場所は、シンプルに気持ちいいし、趣味の自転車もいじれるから」とMさん。最終的に落ち着いたのは、双方の道路から車を入れられるスルータープのガレージと家を並行させ、屋根のある土間でつなぐという配置。家の表裏を決めず、どちらからでも玄関へ至れるようにした。「両側に隣家が迫っていますが、窓からはお隣ではなく車が眺められるのもいいだろうと思って提案しました」。設計した二人が思い描いたように、M邸には、車や外と近い暮らしが生まれた。

「家の形は総2階のようにシンプルに、平屋のように低く」。Mさんの要望に沿った形の家は、1階が親世帯、2階が子世帯と振り分けられている。2階に上ると、仕切りのないLDK。水回りや、将来、子ども部屋として仕切れるスペースも今はひとつながりになり、そこに、以前から持っていたというユーズドの家具が、しっくりとなじんでいる。高田建築事務所からは「天井が低めの空間では、線を少なくした方がすっきり、広く見える」と天井ぎりぎりまでのハイドアの採用や回し縁を省くことなどが提案された。

M家がこの家に暮らし始めて1年。「夏でも冬でも、家の中はさらさらとしていて、本当に快適です」とM夫妻は口を揃えた。壁には呼吸する天然壁材、モイスを張り、窓は樹脂サッシとした組み合わせが効果的なのだろう。1階に暮らす親世帯も、結露のなさを一番に挙げ、「以前、住んでいた古い家とは大違いです」と言った。「完成した時がベストではなく、暮らすうちに良くなる家がいい」と話していたMさん。味わいを増している木の壁の中では、心地いい時間が積み重ねられている。



屋根の傾斜をそのままにしたLDK。ソファやベンチなどの家具は、マンションで使っていたものをそのまま持ち込んだという。Mさんは、壁を塗るなどDIYも楽しんでいる

DATA

敷地面積 / 181.00㎡ (54.78坪)  
 延床面積 / 130.84㎡ (39.57坪)  
 1階面積 / 67.08㎡ (20.29坪)  
 2階面積 / 63.76㎡ (19.28坪)  
 車庫面積 / 27.45㎡ (8.30坪)  
 工 法 / 木造軸組工法  
 基 礎 / 布基礎  
 断 熱 材 / 高性能グラスウール(アクリア)  
 屋 根 材 / ガルバリウム鋼板  
 外 装 材 / ガルバリウム鋼板、一部ウエスタンレッドシダー  
 内 装 材 / モイス、一部ビニールクロス  
 床 材 / オーク積層フロア  
 開 口 部 / 樹脂サッシ  
 キッチン / Panasonic ラクシーナ  
 バスルーム / TOTO サザナ  
 そ の 他 / 造作家具  
 竣工年月 / 2018年5月  
 家族構成 / 両親+夫婦+子ども1人



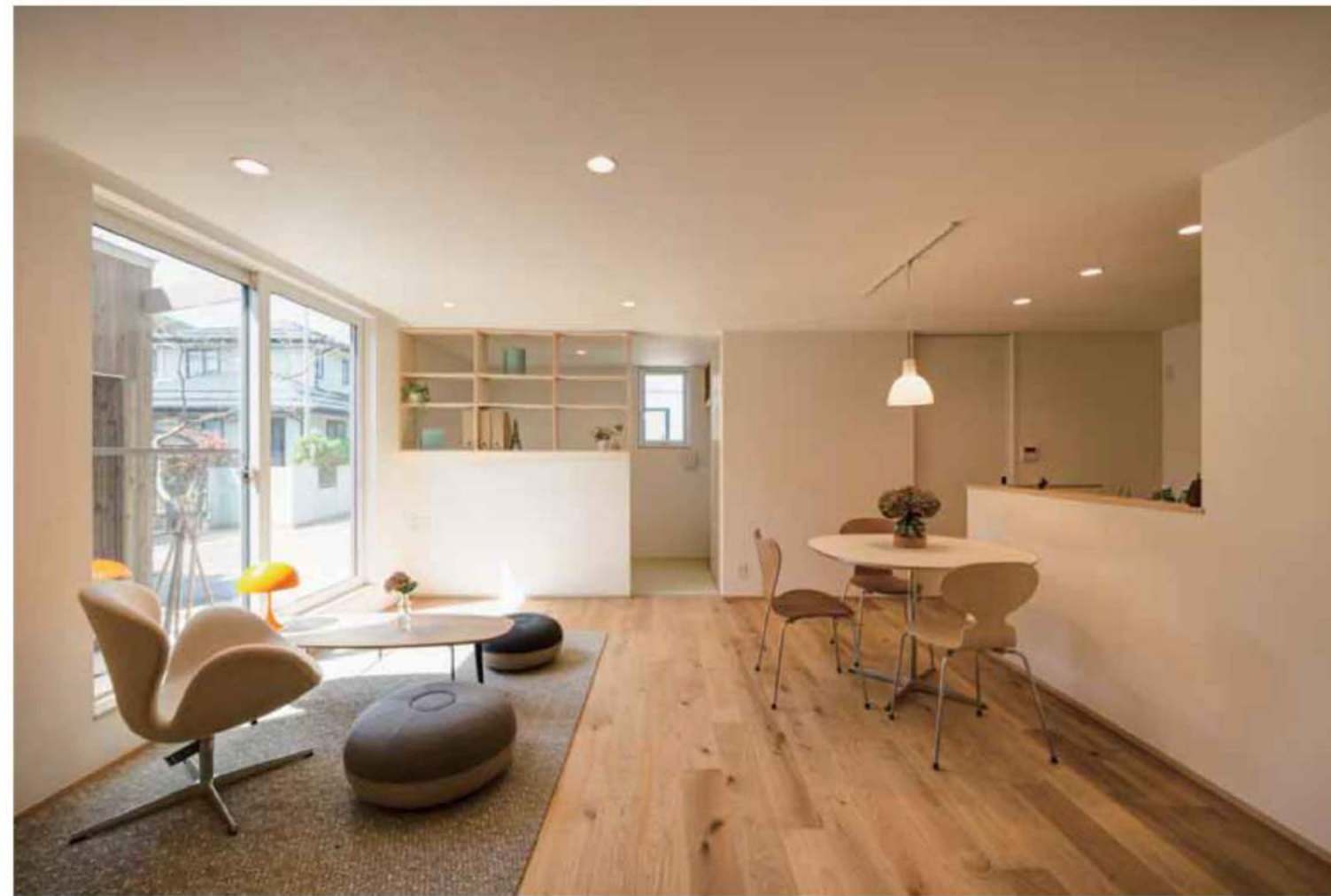
LAYOUT



上 / LDKの一角、Pタイルを敷いたスペースは将来、仕切ること想定した子どもの居場所。壁に掛かっているのはお母さまが描いた油絵 下左 / 洋室は天井にラワンベニヤを張ってすっきりと 下右 / 2階のトイレと洗面台。壁には白いタイルを張って



左 / 2階のベランダ。手すりも外壁と同じ木で製作、さらに軒下にも木を張っている 右 / 二世帯住宅の玄関は一つ。玄関ホールにも天然壁材、モイスを採用。天然の鉱物を主成分としているため、土壁や木の素材のように呼吸する



1階の親世帯のLDK。床は2階と同じオークだが、壁も天井も白で統一しているため、明るい雰囲気



左 / キッチンに立つと、この風景。正面の掃き出し窓からはガレージが見え、車をそばに感じられる 右 / 仕切りの上部はオープンな飾り棚として、抜け感を出した

株式会社高田建築事務所

〒940-1105 長岡市摂田屋5-6-22  
 Tel 0258-36-1230 Fax 0258-35-8185

詳しい企業情報は「ビルダーズスクエア」をご覧ください。

